

人民元週間レポート

2026年7月24日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO

瑞穗銀行

【人民元為替概況】

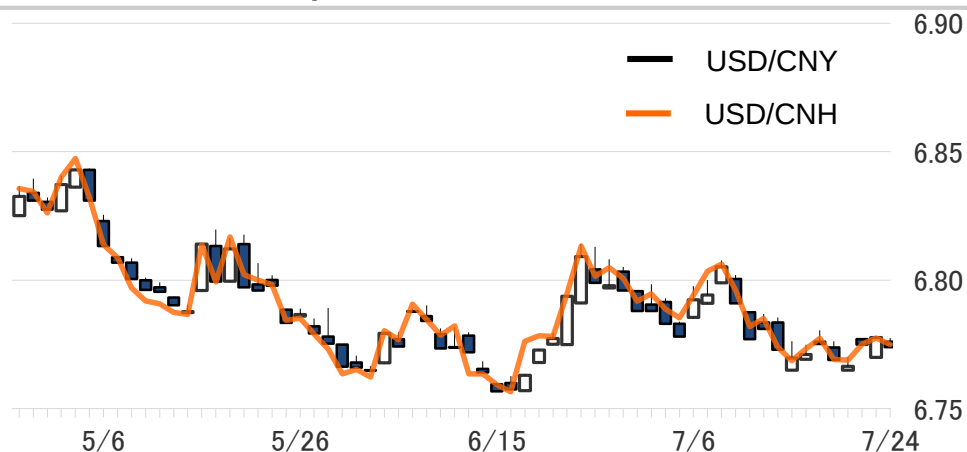
回顧: USDCNYは総じて小動き、JPYCNYは円安が進行し一時4.13台前半まで下落

- ドル人民元(USDCNY)は20日、6.77台前半でオープン。序盤はドル売り優勢の展開となるも、6.76台半ば水準では下げ止まり反発し6.7690付近でクローズ。21日は6.7650でギャップダウンオープン後、新規材料に乏しい中、6.76台半ばから後半水準にて小動き。22日は6.77台後半でオープン後、中東情勢緊迫化への警戒感が台頭する中、為替相場全般にリスクオフのドル買いが先行し、6.77台で推移。23日も海外時間にかけてドル高が進行し6.77台後半まで上昇。23日午前11時時点6.77台後半レベルにて推移している。今週は中国主要経済指標の公表も無く、明確な方向感はず、6.76台半ばから6.77台後半でのレンジ推移となった。
- 円人民元(JPYCNY)は20日、4.17台でオープン。中東情勢悪化への懸念が再燃し、原油高や米金利上昇を背景にドル高が進行する流れを受けて、ドル円は163円台まで上昇。約40年ぶりの円安水準にて推移する動きにつれて、21日には一時4.15割れまで下落。22日には、日銀が利上げペースを加速させることに柔軟な姿勢とのヘッドラインを受けて、4.16台まで反発する場面もみられたが勢いは続かず。23日は4.15台前半でオープン後、アジア時間は小動きとなるも、海外時間には再び円安が進行。ドル円が164円目目前まで上昇する流れを受けて、一時4.13台前半まで下落した。24日午前11時時点では、4.13台後半レベルで推移している。高止まりする原油価格や、日本の財政見通し懸念等が円売り圧力となっており、円安進行に歯止めがかからない状況が継続している。

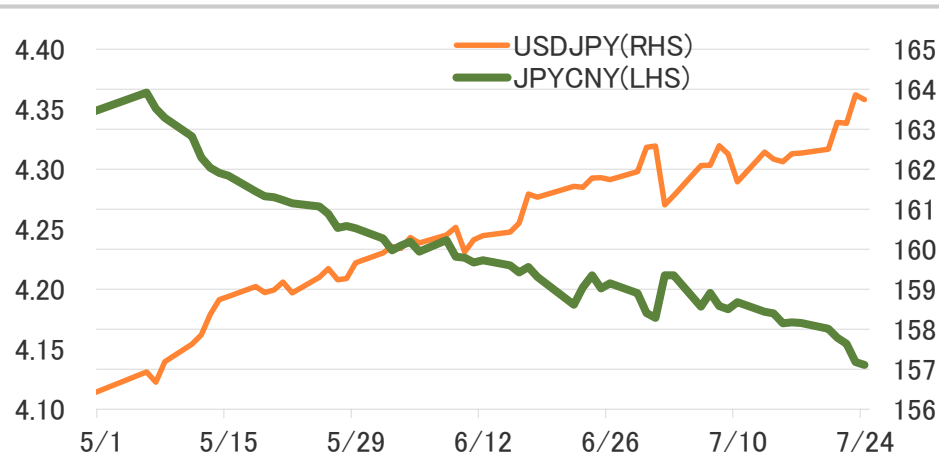
見通し: 来週は主要中銀イベントが予定されており、急激な相場変動には留意が必要

- USDCNYは、中東情勢を巡る先行き不安が再燃するも明確な方向感はず、概ね落ち着いた値動きとなった。来週も中国国内の主要経済指標公表は予定されていないが、28-29日に米FOMC、30-31日に日銀政策決定会合の開催と、主要国中銀のイベントが相次ぐ。日米ともに政策金利の据え置きが予想されているが、今後の政策運営について各中銀トップからどのような情報発信があるか注目したい。
- JPYCNYは、米国・イラン情勢を巡り和平協議再開への見通しが立たず、エネルギーの供給混乱やインフレへの懸念が高まる中、積極的な円買い材料は乏しく円安基調は継続すると見込む。ただし、日銀の政策決定会合を控えていることから、関連ヘッドラインで相場が急変する展開には留意が必要。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



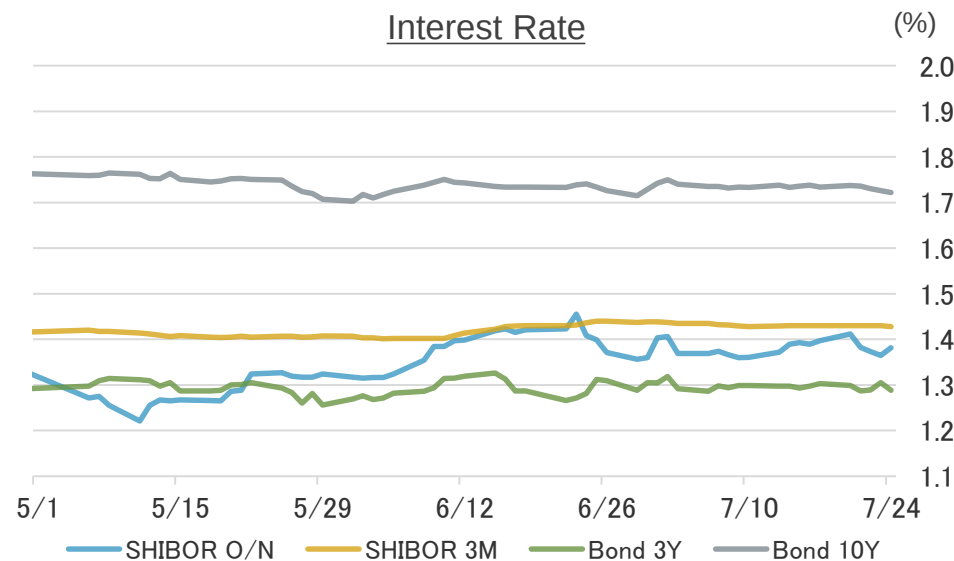
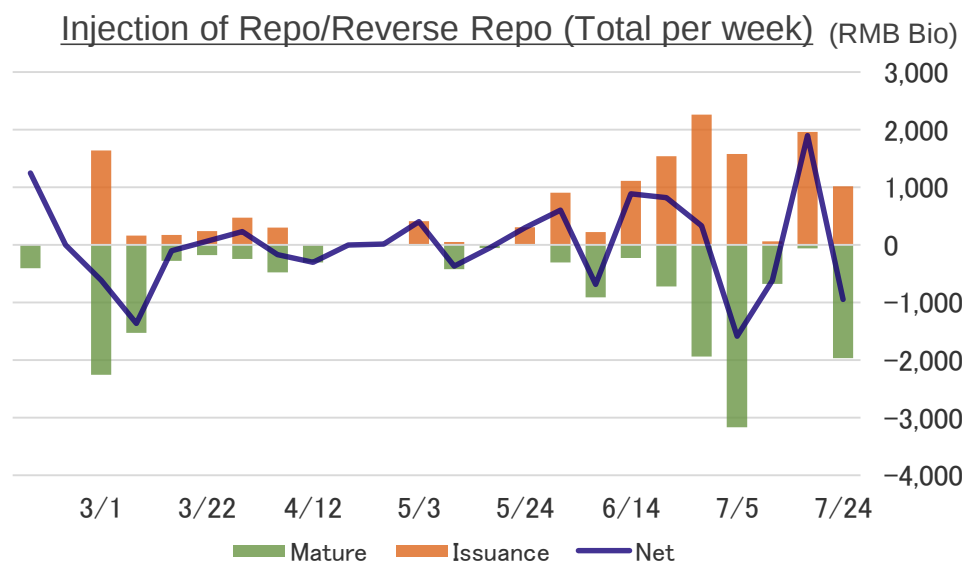
【人民元金利概況】

回顧: PBOCによる短期資金はネット資金吸収となるも、税期影響の剥落等からO/N金利は低下基調

- PBOCは7日物リバースレポにより、合計1兆205億元の資金供給を実施。加えて24日にはMLF(1年物)による5,000億元の資金供給も実施。満期到来分とネットで4,430億元の資金吸収となった。
- 短期資金市場は週後半にかけてPBOCの7日物リバースレポがネットで資金吸収となるも資金流動性は潤沢な状況。O/N金利は低下し1.36%半ばで推移。
- 債券市場は、先週までにGDPを含む主要な経済指標公表を通過したこともあり、動意に乏しいながらも超長期ゾーンを中心に金利低下幅を拡大。2年債利回りは1.27%台近辺、5年債利回りは1.43%台近辺、10年債利回りは1.72%台後半にて推移。

見通し: 来週は月末を控えO/N金利の一時的な上昇には留意が必要

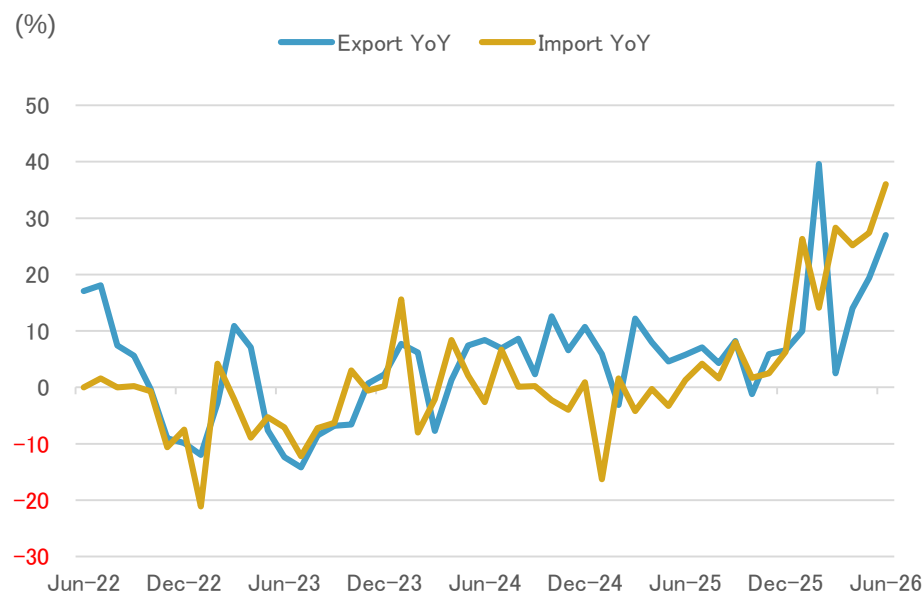
- 短期資金市場では、来週は月末を控える中で資金流動性がタイト化し、一時的にO/N金利が上昇する展開には留意が必要。但し、PBOCは緩和的な政策スタンスを継続していることから、潤沢な資金流動性は継続すると思われ、O/N金利は緩やかな低下方向を想定する。
- 債券市場では、潤沢な資金流動性を背景とした運用ニーズも根強く、金利低下基調が基本線と見込む。来週は米FOMCや日銀金融政策決定会合など、海外主要中銀イベントが開催予定。外部環境次第では、一時的に金利上昇圧力が強まる可能性があり、留意が必要。



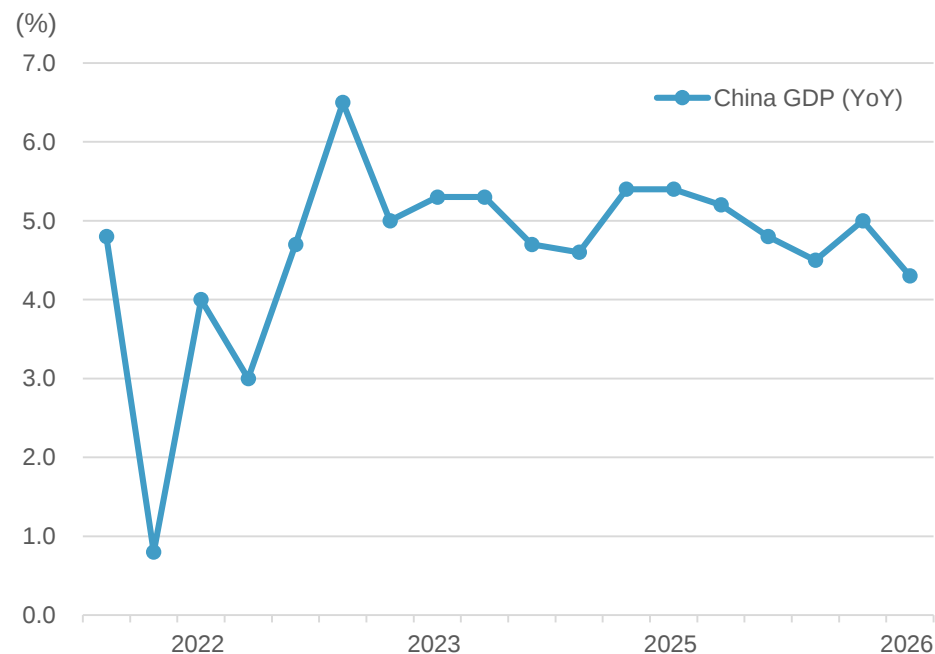
【TOPICS】 貿易統計・第2四半期GDPを公表

- 7月半ばは中国主要経済指標の公表が相次いだ。14日、中国海関総署は輸出入統計を公表。輸出(ドルベース)は前年同月比+27.0%(予想+19.0%、前回+19.4%)、輸入(ドルベース)は同+36.0%(予想+26.1%、前回+27.4%)となり、いずれも市場予想を上回った。貿易黒字は+1,256億ドルと、前月(+1,054億ドル)から増加した。
- 輸出は、世界的なAIブームを追い風に、半導体やデータセンター向け機器の需要拡大を受けて堅調に推移。また脱炭素化への移行が進む中、グリーン関連産業の輸出も増加。国・地域別で見るとASEAN・EU向けは加速した一方、日本向けは減速した。
- 輸入増加の要因については、好調な輸出を受けて原材料・中間財の輸入が増えたことも一因とみられる。原油輸入については、中東情勢悪化に伴う原油価格高騰を背景に、輸入額は増加基調にあるが、調達数量が大幅に減少している。
- 7月15日、国家統計局は第2四半期(4-6月期)GDPを公表。実質GDP成長率は前年同期比+4.3%と、前回(第1四半期+5.0%)から減速し、2026年の成長率目標として掲げる水準である4.5-5.0%に届かなかった。減速要因としては、内需持ち直しの遅れを指摘する見方が多い。
- 国際通貨基金(IMF)は7月8日に公表した「世界経済見通し」にて、世界経済成長率予測全体を3.0%(前回3.1%)へ小幅に下方修正。中国の今年の経済成長予測は4.4%→4.6%と小幅に引き上げられたが、先行きについては不確実性や構造的要因が経済活動の重しとなる可能性を指摘している。

輸出入推移(前年同月比)



China GDP (YoY)



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
7/20	6.7738	6.7760	6.7652	6.7670	6.7948
7/21	6.7650	6.7699	6.7620	6.7668	6.7917
7/22	6.7770	6.7771	6.7687	6.7740	6.7933
7/23	6.7700	6.7777	6.7677	6.7706	6.7906
7/24	6.7760	6.7773	6.7735	6.7744	6.7939

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
7/20	6.7759	6.7787	6.7661	6.7692	6.7726
7/21	6.7692	6.7699	6.7635	6.7689	6.7680
7/22	6.7689	6.7761	6.7678	6.7751	6.7718
7/23	6.7751	6.7786	6.7676	6.7775	6.7692
7/24	6.7775	6.7789	6.7743	6.7750	6.7785

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	7/20	LOW		HIGH	7/24
ON	1.4120	1.3650	～	1.4120	1.3812
1M	1.4200	1.4180	～	1.4200	1.4180
3M	1.4300	1.4280	～	1.4300	1.4280
6M	1.4491	1.4491	～	1.4500	1.4500
1Y	1.4722	1.4722	～	1.4791	1.4791

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	6.7738	6.7777	6.7620	6.7744
100JPY/CNY	4.1729	4.1729	4.1350	4.1369
EUR/CNY	7.7461	7.7501	7.7087	7.7137
HKD/CNY	0.86401	0.86428	0.86251	0.86384
GBP/CNY	9.1151	9.1219	9.0203	9.0343

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	162.43	163.99	162.22	163.86
EUR/USD	1.1438	1.1450	1.1364	1.1377
EUR/JPY	185.70	186.66	185.35	186.43
GBP/USD	1.3451	1.3481	1.3299	1.3315
AUD/USD	0.6981	0.7027	0.6962	0.6969

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマー
チーム

(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行